



民生委員・児童委員マーク

ともしび

にのみや

第9号

令和6(2024)年8月発行

西宮市民生委員・児童委員会

〒662-8567 西宮市六湛寺町10-3
 事務局:西宮市地域共生推進課
 ☎0798-35-3032
 発行責任者: 貴山好江

地域での安心な暮らしを応援

西宮市民生委員・児童委員会
会長 貴山好江



令和4年12月の一斉改選で、今期13名の地区会長による新たな理事構成で活動をしています。

コロナ禍において民生委員・児童委員として思うような活動が出来なかった期間を含め、今、民生委員・児童委員は民生委員制度をはじめ、欠員問題、活動方法等々大きな転換期を迎えています。

欠員問題においては西宮市民生委員・児童委員会として大きな課題であり、長年の懸案事項です。今期はこの大きな課題を理事会、委員の皆さん、地域、そして特に行政には大きく関わっていただきたく「ONE TEAM」スクラムで欠員解消に取り組んでいきます。

委員活動の見直しについては改革・改正すべきものと、100余年の歴史において変えてはならないものとを識別しながら、委員の役割と意義について考えていきたいと思っています。声掛け・見守り・訪問は民生委員・児童委員活動の3原則です。難しいものではなく誰もが出来る活動でありたい、そして民生委員・児童委員として自信と誇りをもって活動していただける環境づくりにしっかりと目を向けていくことが理事会としての大きな役割であり、次期に繋がる西宮市民生委員・児童委員会をと、理事全員全力で臨んでいるところです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事会の構成

地区名	役職	氏名	氏名
鳴尾第3	会長	貴山好江	
瓦木	副会長	北岡良恵	
広田	副会長	原田慎一	
大社	会計	越後律子	
中央	理事	神田まどか	
夙川	理事	田中仁美	
今津	理事	小林恒雄	
芦原	理事	木下和子	
鳴尾第1	理事	池内良子	
鳴尾第2	理事	中村輝美	
甲東	理事	増山良子	
塩瀬	理事	橋本多喜男	
山口	理事	堀毛好美	

(R6.4.1時点)

定数と委嘱状況

	定数	委嘱数	欠員
民生委員・児童委員	694	594	100
主任児童委員	42	36	6
計	736	630	106

(R6.4.1時点)

声掛け・見守り・訪問

- 毎年秋ごろに「高齢者実態把握調査」を行っています。70歳以上の独居、高齢世帯を中心に訪問し、世帯状況や何かあった際の迅速な対応のために緊急連絡先をお伺いし、高齢者の生活不安の解消に役立てています。
- 訪問活動を通じて、地域の方を福祉サービスや専門機関等につなぐパイプ役を果たしています。
- 日頃の生活から災害時を含め、地域のつながりが重要になってきます。日頃の声掛けや社会参加を促すなど、“支えあう 住みよい社会 地域から”に取り組めます。
- 民生委員は児童委員を兼ねています。子育て支援に関する地域の情報提供や子育てサロンの案内を行うなど、子育て家庭と地域をつなぎ、ともに子どもが健やかに育つ地域の環境づくりの一助となるよう見守っていきます。



地区活動紹介

西宮市の民生委員・児童委員会には13の地区民生委員・児童委員協議会があります。各地区協議会の活動を順番に紹介しています。

鳴尾第1地区

鳴尾第1地区は鳴尾区域の3つの単位協議会の最北部に位置し、鳴尾北校区・小松校区の民生委員・児童委員40名、主任児童委員3名で活動しています。



兵庫県民生委員・児童委員会キャラクター
「兵庫県版 ミンジー」

子育て家庭との関わり



鳴尾区域は新しい住宅に新たな若い世代のご家庭が引っ越してきている様子が見て取れます。これまでの「健やか赤ちゃん訪問」の活動では、そのような地域との結びつきがまだ十分でない子育て世代の皆さんに対して、育児の不安・悩みの解消や同世代の繋がりづくりなどにつながるお手伝いをしてきました。

令和6年1月からは、市の委託業者が訪問することになりましたが、引き続き、子育て情報の提供や地域での児童の見守りを行い、地域の子育て家庭に寄り添っていきます。また、主任児童委員を中心に子育てサロンの運営などに参画・協力しています。

高齢者等の見守り

「高齢者実態把握調査」や日々の見守り活動などを通じて、支援を必要とされて

いる方と行政サービス・専門機関とを繋ぐパイプ役としての役割を果たしていくように努めています。

わたしたちの地区・校区の定例会後には「このところ〇〇公園で〜〜を見かけますが…」とか「〇〇商店前の歩道で〜〜があったと聞きました」などの地区内の日々の見守り活動に基づく気づきや心配事の共有、情報の交換が行われています。

そしてそれぞれについて委員の皆さんの経験に根ざした注意点・解決策などの具体例や意見が交わされています。それらにより、昨今ともすれば弱まりつつあるといわれる「ご近所の共生」の一助になるべく努めているところです。



(樋口 章)

「ともしび」のバックナンバーは西宮市ホームページからご覧いただけます。



こちらの二次元バーコードから読み取っていただけます。



「ともしび」の由来

民生委員・児童委員は、福祉に関する悩みを抱えている方々の見守りや支援の窓口(ともしび)です。地域ではその窓口の存在を知らない方も多いので、この広報紙を通して民生委員・児童委員の活動をより知っていただければとの思いから「ともしび」と名付けました。



編集後記

市政と地域をつなぐ民生委員・児童委員の役割をご理解いただくために、「ともしび」第9号をお届けします。

西宮市では、民生委員・児童委員に、欠員が生じている地域があります。同じ地域で共に暮らしていても、互いに繋がり少ない日常生活を送っている

方々が増えています。高齢者のお世話や子育て、防災対策など、地域が直面する課題に目を向けながら、広報委員会では、活発な議論と和やかな雰囲気の中で、「ともしび」を編集してまいりました。地域の安全と幸福を守る、民生委員・児童委員の活動に、ご理解ご協力よろしくお願いたします。

大社地区 千葉 征慶